

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 一宮市立萩原中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒491-0376
愛知県一宮市萩原町字串作河室浦1番地

E-mail : hagiwara-j@city.ichinomiya.aichi.jp

Website : http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/~hagiwa-j/

児童生徒数：男子 229名 女子 282名 合計 519名
 児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域に見守られ地域で活躍する生徒の育成）

4. 活動内容

(1) 人権・福祉教育

【第1学年】「障害者や高齢者に優しい社会を実現しよう」
(総合的な学習の時間) <9~12月>

・「福祉実践教室」で、障害のある方を招いて話を聞き、障害のある方の気持ちや援助の仕方を理解した。また、車いすの体験等も行った。社会福祉に対して、自らの問題としてとらえる良い機会となった。



第1学年「福祉実践教室」

【第2学年】「幼児の生活と家族」(技術・家庭科)
<9月~12月>

・幼児の心身の発達と生活について学び、家族とのかかわりの重要性について考えるとともに、保育園での幼児との交流を通して、幼児期の特徴やかかわり方について学んだ。生徒たちは、幼児と楽しく過ごす中で、幼児の立場や思いを受け止めて行動することの難しさを感じ取っていた。

【全学年】

・町民運動会、敬老会、公民館祭りなどの地域行事へのボランティアに多くの生徒が積極的に参加し、地域社会の一員として貢献した。地域の方の温かい声かけもあり、ボランティア活動を通して、生徒は他人のため、地域のために活動できたことに喜びを感じていた。また、12月には人権教育講演会を開催した。人権に関する様々な課題について講演を聞き、人権についての関心を高めていた。

(2) キャリア教育

【第1学年】「夢の実現に向けて」(総合的な学習の時間) <1~3月>

・身近な人の働く姿や職業について調べ、レポートにまとめながら、将来の自分のことを真剣に考えていた。

【第2学年】「職場体験」(総合的な学習の時間) <6~2月>

・国語や学級活動の関連内容と結びつけながら、職業や上級学校について調べた後、8月に職場体験を行った。生徒たちは、実際に地域の事業所で職場体験を行うことで、働くことの意義を体感していた。また、10月にはキャリア週間を設定し、「おやじの仕事語る会」でおやじの会の方から様々な職業の話聞いた。身近な人の生の声を聞くことで働くことの喜びや責任などについて学ぶ良い機会となった。



第2学年「職場体験」

(3) 環境教育

【全学年】「資源回収活動」(総合的な学習の時間) <7月, 11月>

・地域住民とともに資源回収活動を行う中で、正しく分別することなど資源として出す際の注意事項について身をもって学んだ。また、積極的に地域の人々と関わり、地域に貢献することの大切さに気づく機会となった。

【委員会活動】<全期間>

・美化委員会は学校全体に出るごみの量の計測結果をまとめ、校内放送で全校に知らせた。また、生活委員会、緑化委員会が節電・節水を呼びかけるポスターを作成し、校内すべての電気スイッチや手洗い場に掲示をした。生徒一人一人が環境問題へ目を向けるきっかけとなった。



全学年「資源回収活動」

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）